

プロポーザル方式プロジェクトの設計・監理報告

ーアスカカンパニー ナレッジパーク イースト 新築工事ー

建築本部 設計部 西田剛市

1. はじめに

アスカカンパニー株式会社（以下 ASKA 社）は 1968 年に創業し、兵庫県加東市に本社を置く、プラスチック製品射出成形の開発・製造・販売を行うメーカーである。製品は、食品容器・文房具・各種工業用品だけでなく、高度な精度が要求される医療用製品も、設計から製造、および評価まで行っている。同社は、その高い技術力を評価され、平成 29 年度には厚生労働省の「現代の名工」を輩出している。

本計画は、ASKA 社創業 50 周年記念事業として、同社の既存東北工場と同じ宮城県加美郡加美町に、生産施設拡充を目的とした新工場と、その一体施設として、知識を社会と共有しプラスチック産業全体の生産性向上に繋げる場所、および地域と交流・貢献できる場所としての「ナレッジパーク」の建設を目的としたプロジェクトである。本稿では、意匠設計者の一般的な業務説明も踏まえながら、プロポーザル方式プロジェクトの設計・監理報告を行う。

2. 建物概要

物件名称：

アスカカンパニー ナレッジパーク イースト 新築工事

事業主：アスカカンパニー株式会社

設計・監理：株式会社ピーエス三菱 一級建築士事務所

施工：株式会社ピーエス三菱 東北支店

設計期間：企画設計 2017 年 5 月～2017 年 7 月

基本、実施設計 2017 年 9 月～2018 年 2 月

監理期間：2018 年 3 月 8 日～2018 年 10 月 31 日（図-1）

プロジェクト全体スケジュール表

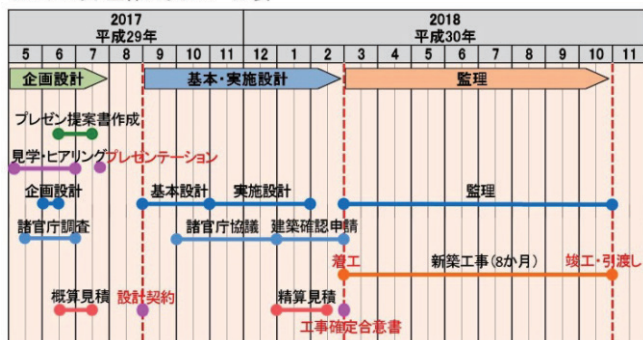


図-1 全体工程表

敷地面積：13,332.08 m²

構造規模：鉄骨造、地上 2 階

建築面積：2,784.36 m²（付属倉庫 含）

延床面積：3,200.11 m²（付属倉庫 含）

3. 設計業務

3.1 企画設計・プレゼンテーション

企画設計とは、敷地・法規制等の条件に基づき、建物の用途・規模等の基本的条件を設定し、顧客が事業に対する意志決定に必要な基本計画図、プレゼン資料の作成業務を指す。

2017 年 5 月、ASKA 社の本社工場と東北工場を訪問し、建物見学と、新棟構想について説明を受け、3 社によるプロポーザル（企画・提案）方式のプレゼンテーションが 7 月に開催されることとなった。6 月から各部門の設計担当者と打合せを行い、基本計画図の作成に 2 週間、プレゼン資料の作成に 1 ヶ月間を要した。プレゼン資料は、工場見学と ASKA 社ヒアリングから得た 4 つのキーワードを軸にストーリーを構成し、ASKA 社の強い要望と想いがある部分については、特に推こうを重ね資料を作り込んだ。（写真-1）



写真-1 プレゼン資料 構想中（抜粋）

加えて、イメージをより強く共有させるため 3D-CG ムービーと、CG パースの作成を行った。完成したプレゼン資料は全 60 ページとなった。（写真-2）



写真-2 プレゼン資料 完成版（抜粋）

プレゼン当日はASKA社と当社合わせて約20名が出席し、持ち時間は、発表と質疑応答を含めて60分であった。約1ヵ月の選定期間を経て、「ASKA社のコンセプトを一番に理解し、それを優れた形に表現出来た」との評価を頂き、当社案が正式に採用され設計契約を締結した。

3.2 基本設計・実施設計

基本設計とは、企画設計における基本計画図を、顧客要求事項に対し意匠・機能・技術上・法規等の検討を行い、各種仕様を具現化した設計図の作成業務を指す。また実施設計は、基本設計図に加え、積算および工事着手に必要な設計図の作成業務、諸官庁協議および審査機関への申請業務を指す。

2017年9月から2018年2月の期間に基本・実施設計を行った。基本的に月2回の設計定例会を開催し、ASKA社（総務、製造部門）・当社（設計部門）の双方の担当者により機能面、技術面などの検討を行った。特に、積雪対策・卓越風対策・作業動線・クリーンルーム清浄度管理・温度湿度管理・従業員下足入れの防滴乾燥対策については多くの意見が挙がった。各部の改善を反映し、図面修正を繰返しながら5ヵ月で実施設計図（A1全172枚、意匠図のみで76枚）を完成させ、諸官庁協議と建築確認等の各種申請を経て、工事確定合意書を締結した。

4. 監理業務

監理業務とは、施工段階において設計図書に記載されている品質を具現化するために、工事内容を設計図書と照合し、設計図通りに施工されていることを確認する業務を指す。監理者による各種検査の実施の他、諸官庁の各種検査の立会いも含む。

2018年3月に着工し監理業務を開始した。当該工事においては、ASKA社を交えた2回/月の総合定例、監理者・工事管理者・現場代理人による2回/月の分科会が監理業務の主体となった。また、通常の監理業務と並行して、ASKA社（営業部門）とのデザイン会議を定期的で開催し、各社ショールームでの打合せ、プレゼンボード・CGパースの作成を行い、内外装材を選定した。（写真-3）

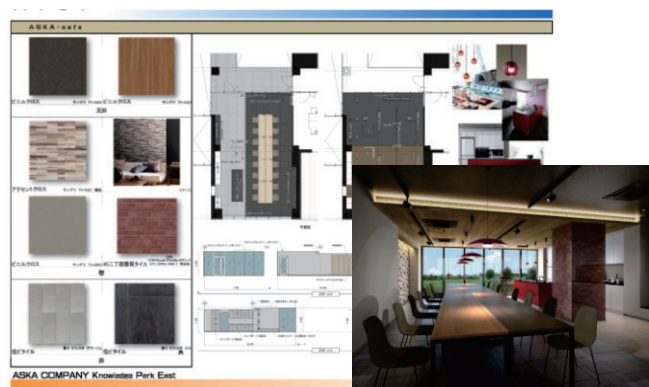


写真-3 デザイン会議 プレゼンボード・CG (抜粋)

工事完了時には各種完了検査の立会いを行い、最終的に監理報告書を提出して、2018年10月に監理業務を完了した。（写真-4、写真-5、写真-6）



写真-4 外観



写真-5 外観 (ナレッジパーク)



写真-6 内観 (クリーンルーム 生産エリア)

5. まとめ

ナレッジパークの建設にあたり、ASKA社の創意工夫の姿勢には敬服するばかりであった。その熱意に応えるべく工事管理者・関係者各位にはご尽力いただき、最終的に事業主から満足の言葉を頂戴できたこと、心より感謝する。また、本稿が意匠設計者の業務理解の一助となれば幸いである。

Key Words : 意匠設計, プロポーザル方式, 設計, 監理



西田剛市